

インドにおける遺骨収容実施状況(令和6年2月末現在)

| 地域 | 戦没者概数 | 政府派遣 収容遺骨数 |
|---------|-------------|---------------|
| インパール周辺 | 30,000 | 2,303 |
| コヒマ周辺 | | 233 |
| グワハティ市 | | 9 |
| 計 | 30,000 ※ | 2,545 |

(注) 政府派遣以外に、復員あるいは引揚げの際に戦友等により持ち帰られた遺骨17,410柱があり、これらは当時、インドという単位で整理されており、詳細な地域ごとの数字はない。
 なお、概見図上の収容遺骨概数は、政府派遣収容遺骨数2,545柱と併せて、19,960柱としている。

※ 戦没者概数 30,000人には、海没者(数は不明)を含んでいる。
 なお、インド及びミャンマーの海域での海没者数は併せて約 1,600人であるが、その内訳はない。